

2009年6月30日
株式会社日立製作所

日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」を体系化

CPUやメモリなどのプラットフォームリソースを占有できる高信頼なビジネスPaaSソリューションを提供

株式会社日立製作所(執行役会長兼執行役社長:川村 隆/以下、日立)は、高信頼、高セキュリティなクラウドコンピューティング環境を実現するソリューションを新たに「Harmonious Cloud(ハーモニアスクラウド)」として体系化し、7月31日から順次提供を開始します。

「Harmonious Cloud」は、ビジネスPaaS^(*1)ソリューション、ビジネスSaaS^(*2)ソリューション、プライベートクラウドソリューションの3つで構成され、クラウドコンピューティングの導入コンサルテーションから設計、構築、運用までトータルに提供します。

特に、ビジネスPaaSソリューションでは、クラウドコンピューティング環境でありながらCPU、メモリなどのプラットフォームリソースをユーザーが占有して利用できる日立独自の「リソースキャパシティ保証サービス」を提供します。これにより、ミッションクリティカルなシステムを所有するユーザーのクラウド化ニーズにも応えられ、より高信頼、高セキュリティなクラウドコンピューティングを実現します。

今後、日立は、「Harmonious Cloud」について、社会インフラシステムにおいても十分に対応できる高信頼なクラウドコンピューティング環境の実現をめざし、ネットワークを含めたプラットフォームや、空調、電源設備、制御システムなど、幅広い分野での研究開発を日立グループの総力を結集して継続していきます。

*1 PaaS(Platform as a Service):ユーザーが情報システムを構築、稼働させるのに必要なプラットフォーム一式をサービスとして提供するビジネス形態のこと。

*2 SaaS(Software as a Service):ユーザーが必要とするアプリケーション機能をサービスとして提供するビジネス形態のこと。

近年、ITシステムは「所有」から「利用」へと使用形態が広がりつつあり、インターネット上のプラットフォームリソースを利用するクラウドコンピューティングが注目されてきています。また、官公庁が保有するITシステムにクラウドコンピューティング技術を適用し、全体最適化を図るための各種施策の検討も始まっています。一方、企業では膨大な業務システムに対し、高い信頼性やセキュリティを維持したままクラウドコンピューティング環境で利用したいというニーズも出てきています。

このため、クラウドコンピューティング環境においても、企業が所有するITシステムと同様の信頼性やセキュリティを確保し、サービス提供することが求められるようになってきています。

このような背景のもと、日立は「Harmonious Cloud」を体系化し、プラットフォームリソースとして最新技術を取り入れた高信頼、高性能な日立製品を中心に採用するとともに、日立グループの総力を結集した環境配慮型データセンタを活用した多様なサービスを提供します。

特に、CPUやメモリなどのプラットフォームリソースを占有して利用できる日立独自の「リソースキャパシティ保証サービス」も、ビジネスPaaSソリューションのメニューとして提供することで、クラウドコンピューティング環境でありながら、バッチ処理^(**3)の終了予定時刻を確実に見積もることなどが可能となります。

*3 バッチ処理:例えば企業における売上データや受注データの集計など、一定時間内もしくは一定容量のデータを集め、一括して処理を行う方式。または、いくつかの手順からなる処理について一連の実行手順を登録しておき、自動的に連続処理を行う方式。

なお、本年 6 月 16 日付で、「Harmonious Cloud」を推進する中核組織としてクラウド事業推進センタを設置し、技術開発およびクラウドコンピューティング関連事業を推進していきます。

■「Harmonious Cloud」の特長

1.ビジネス PaaS ソリューション

(1)高信頼、高性能かつ高いセキュリティを実現するプラットフォームリソースの提供

これまでエンタープライズシステムで豊富な実績があり、最新技術も取り入れた高信頼、高性能な日立製品を中心に構成されるプラットフォームリソースをインターネット経由で利用するサービスとして提供します。

サーバは、統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」のサーバ仮想化機構 Virtage (バタージュ)によって、高信頼で高性能な仮想化を実現しています。同様に、ストレージは、「日立ディスクアレイサブシステム」を用い、ユーザーごとに独立した物理ディスクと同等のセキュリティを持つ論理ユニットを割り当て、論理ユニットへのアクセスをそのユーザーの仮想サーバのみに限定するなどの方式を採用しています。

(2)物理 CPU、物理メモリなどを独占的に利用可能

サーバ仮想化機構 Virtage 独自の機能により、ユーザーが物理 CPU、物理メモリなどを独占的に利用できる「リソースキャパシティ保証サービス」を提供します。これにより、クラウドコンピューティング環境においても、バッチ処理の終了予定時刻を確実に見積もることや、シミュレーション業務などでメモリ不足による異常終了を回避することなどが可能となります。

(3)最先端のグリーン IT 技術を駆使した環境配慮型データセンタを活用

日立グループのデータセンタ省電力化プロジェクト CoolCenter50^(*)の成果である、高効率な空調設備や電源設備を全面的に採用した環境配慮型データセンタ内に、Harmonious Cloud センタを構築し、本サービス向けの機器を設置、運用することで、高い環境配慮を実現しています。

さらに、Harmonious Cloud センタでは、ユーザー企業のアプリケーションやパッケージのクラウドコンピューティング環境での検証をクラウド事業推進センタの専門技術者が支援します。

*4 CoolCenter50:日立グループの総力を結集し、2012 年度には消費電力量を 2007 年度と比べて最大 50%削減することを目標としたデータセンタ省電力化プロジェクト。

2.ビジネス SaaS ソリューション

約 400 業種で約 4 万社の会員企業に提供してきた企業間ビジネスメディアサービス「TWX-21」において、企業間活動に関わる複数の企業の業務別、役割別、ユーザー別に応じたきめ細かなアプリケーションサービスとして「設計・製造管理・保守業務対応 図面／仕様書管理サービス」や「個別受注管理業務対応 見積・受注・納入・売上支援管理サービス」を既に提供しています。さらに、7 月 27 日からは、「欧州 REACH 規則など化学物質管理業務対応 環境情報交換サービス」を開始します。

また、「TWX-21」のほかにも日立グループでは、各種業種、業態別に 33 種類のアプリケーションサービスを提供しており、今後も順次メニューを拡充していきます。

3.プライベートクラウドソリューション

ユーザー企業の社内、企業グループ内で利用する高信頼なクラウドコンピューティング環境を構築するシステムインテグレーションサービスを提供します。あわせて、Harmonious Cloud センタでのクラウド構築、運用のノウハウやツールを提供することで、ユーザー企業自身による企業内クラウド構築を支援します。

■事業規模目標

クラウドコンピューティング関連事業において、日立グループ全体で2011年度に1,000億円^(※5)の売上をめざします。

*5 システム構築、プラットフォーム製品売上を含む。

■価格と提供時期

1. ビジネス PaaS ソリューション

サービス名	概要	価格	提供開始時期
プラットフォームリソース提供サービス	・仮想化されたプラットフォームリソースを提供するサービス	8万9,000円～ (月額)	2009年7月31日
リソースキャパシティ保証サービス	・物理CPU、物理メモリなどを占有することでプラットフォームリソースの処理性能を確実に確保するサービス	個別見積	
可用性強化サービス	・システムディスク、ディスクボリュームのバックアップ/リストア、サーバのクラスタ化などプラットフォームリソースの可用性を強化するサービス	個別見積	
クラウド導入コンサルテーション	・既存環境のアセスメント、クラウド導入の計画などに関するコンサルテーション	個別見積	
クラウド導入支援サービス	・導入時のネットワーク設計(VPNなど)、サービス選定を支援するサービス ・アプリケーションの検証、既存サーバ環境のクラウド環境移行などの支援サービス	個別見積	
ソフトウェアスタック提供サービス	・電子モール、給与計算など業務アプリケーションの開発に必要なミドルウェアを、目的に応じて組み合わせ提供サービス	個別見積	2009年10月30日
PaaS構築・運用支援サービス	・PaaS構築・運用のノウハウを提供するサービス		
SaaS事業者向けサービス	・SaaS事業を行う上で必要となる機能などを提供するサービス		

2. ビジネス SaaS ソリューション

サービス名	概要	価格 ^(※6)	提供開始時期
TWX-21 設計・製造管理・ 保守業務対応 図面／仕様書管理 サービス	・設計情報や保守開発情報といった 任意の形式のビジネスドキュメントを セキュアな空間でタイムリーに授受、 共有でき、ドキュメントの交換履歴、 共有状況を可視化するサービス	【バイヤー企業】 20万円～(月額) 【サプライヤー企業】 1,000円～(月額)	提供中
TWX-21 個別受注管理業務対応 見積・受注・納入・ 売上支援管理サービス	・「受注生産型製造業サプライヤー」 において案件毎の業務状態遷移を 見える化し、見積・受注・納入・ 売上業務を支援するサービス	【サプライヤー企業】 6,500円～(月額)	
TWX-21 欧州REACH規則など 化学物質管理業務対応 環境情報交換サービス	・JAMP-GP ^(※7) と連携した広範囲な 情報交換サービスや環境情報 DB サービスなどにより、バイヤー・ サプライヤー企業の環境情報交換の 自動化・効率化を支援するサービス	【入手側】 10万円～(月額) 【提供側】 JAMP-GP 連携 3,500円～(月額)	2009年7月27日
各種業種、業態別 SaaS	・アプリケーション機能をサービス として提供	-	提供中

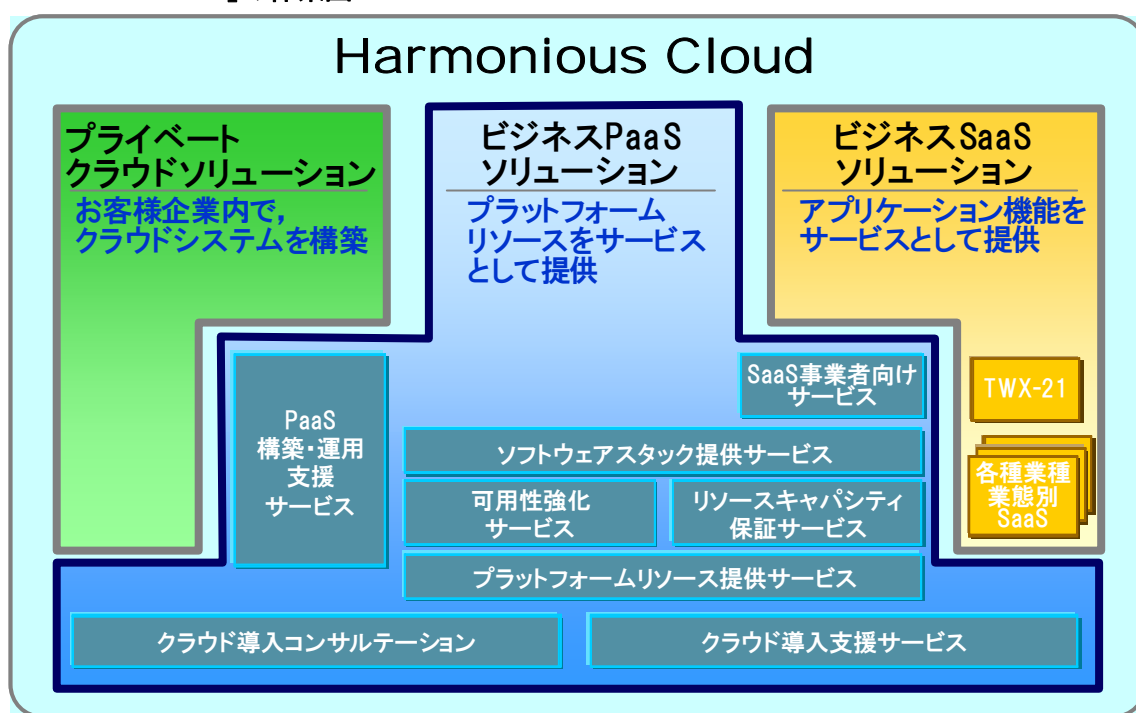
*6 月額利用費の一例。月額利用費の条件や、導入一時費用は各サービス別に定義されている。

*7 JAMP-GP: (社)産業環境管理協会 JAMP 情報センターが提供する情報流通基盤。システム管理機能および一元管理されたインデックスを持ち、複数の企業からの「情報交換」要求を一括処理する機能を持つグローバルポータル(GP)と、ユーザーが直接操作する画面機能やデータベース機能などを持つアプリケーションサービス(AS)で構成される、化学物質の情報交換の基盤となるシステム。

3. プライベートクラウドソリューション

サービス名	概要	価格	提供開始時期
プライベートクラウド ソリューション	・お客様企業内でクラウドシステムを構築	個別見積	2009年10月30日

■「Harmonious Cloud」の体系図



なお、本発表に際し、各社から以下のコメントをいただいています。(会社名 50 音順)

■ **インテル株式会社 マーケティング本部長 江田 麻季子氏**

インテルは、日立製作所のクラウドコンピューティング事業強化を歓迎致します。インテル最新のサーバ用プロセッサ、インテル®Xeon® プロセッサ 5500 番台搭載の「BladeSymphony」は、先進の仮想化環境を提供します。「Harmonious Cloud」で使われるサーバ仮想化機構 Virtage は、仮想化をハードウェアでアシストするインテル® バーチャライゼーション・テクノロジーと日立製作所の仮想化技術を融合した革新的な機能です。両社の先進技術と日立製作所の事業強化による、高信頼かつ高セキュリティのクラウドコンピューティング環境の構築に期待しています。

■ **SAP ジャパン株式会社 バイスプレジデント**

ビジネスユーザー&プラットフォーム事業本部長 福田 譲 氏

SAP ジャパン株式会社は、日立の「Harmonious Cloud」に歓迎の意向を表明します。今後予測されるクラウドコンピューティングの普及に対し、ビジネス面、技術面での課題について両社が協力して検討、検証を行うことで、新たな顧客価値が提供できることを期待しています。

今後も SAP ジャパンは日立とのパートナーシップを強化し、お客様の経営基盤構築と経営課題解決のためのご支援に努めて参ります。

■ **シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社 代表取締役社長 マイケル キング 氏**

シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社は、株式会社日立製作所のクラウドコンピューティング事業強化を歓迎致します。従来のクライアント/サーバーシステムをクラウド環境において動作させるためには、クライアントソフトウェアをサーバにインストールし、画面イメージとキーボード/マウス信号だけを送受信するアプリケーションの仮想化が非常に有効です。このアプリケーション仮想化の分野において長い歴史と経験を有する Citrix XenApp™ が、日立のクラウド技術と連携することで、画期的な企業向けコンピューティング環境を構築、提供できるものと期待しています。

■ **マイクロソフト株式会社 執行役 ジャパングローバルパートナー統括本部担当 前田 浩 氏**

このたびの株式会社日立製作所様の「Harmonious Cloud」によるクラウドコンピューティングサービス提供の開始、誠にありがとうございます。

マイクロソフトは、「ソフトウェア」とクラウド型の「サービス」の最適な組み合わせを提案するソフトウェア+サービス(S+S)戦略に基づき、電子メールやポータルなど企業向けソフトウェアの機能をインターネット経由で提供する「Microsoft Online Services」の展開や、クラウド向けプラットフォームである Azure Services Platform の開発を進めております。

クラウド分野において、日立製作所様が培ってきた高信頼技術と弊社の最先端のテクノロジーを組み合わせることで、柔軟かつ堅牢なソリューションをお客様に提供していくことができるものと確信しております。

今後、Microsoft Online Service や Azure Services Platform と、「Harmonious Cloud」との連携も視野に入れながら、クラウドコンピューティングと企業の自社保有 IT リソースを組み合わせた最適な IT 環境をお客様にお届けすべく、日立製作所様との協業活動を強化してまいります。

■「日立 uVALUE コンベンション 2009」出展について

日立は、2009年7月22日～23日に東京国際フォーラムで開催する「日立 uVALUE コンベンション 2009」において、今回発表した「Harmonious Cloud」をセミナーおよび展示でご紹介します。

「日立 uVALUE コンベンション 2009」オフィシャルサイト: <http://hitachi-uvcon.com>

■関連情報

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

■他社商標注記

- ・インテル、インテル Xeon は、米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションの商標です。
- ・SAP、SAP のロゴ、および本文書に記載されたその他の SAP 製品、サービスならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよび世界各国における SAP AG の商標または登録商標です。本文書に記載されたそれ以外の製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。本文書に記載された情報は参考として提供されています。各国別に製品仕様が変更される場合があります。
- ・Citrix は、Citrix Systems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・XenApp は、Citrix Systems, Inc.の米国およびその他の国における商標です。
- ・Microsoft, Windows, Azure, Microsoft Online Services は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

■本件についてのお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信グループ

プラットフォームソリューション事業部 事業戦略部[担当:音瀬、米山]

〒212-8567 神奈川県川崎市幸区鹿島田 890 日立システムプラザ新川崎

E-mail: Harmonious_Cloud@ml.itg.hitachi.co.jp

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
